

教科・科目	【国語・言語文化】	単位数：2単位 履修年次：1年次
目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重して向上を図る態度を育てる。	
教材	完全マスター古典文法（第一学習社）、新明説漢文（尚文出版）、日本文学史必携（第一学習社）、古文単語330（いいずな書店）、プロレス古典総演習基本編（いいずな書店）、進研 WINSTEP 古典1（ランズ）	
学習方法	①音読を繰り返し、古文や漢文のリズムを体得する。 ②文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。 ③文法事項では、文語のきまり、訓読のきまりを理解する。 ④口語訳を行い、文章の内容を正確に読み取る。 ⑤古典常識の知識を深め、文章の構成を確かめたり、表現の特色をとらえる。 ⑥自ら読み取った思想や感情などについて、感じ考えたことを文章にまとめる。 ⑦文章の背景に迫り、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考える。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準 (支援なしで)活用できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を十分に深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが十分できるようになっている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を活用しようとしている。
(支援ありで)活用できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を使おうとしている。
不十分である	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが不十分である。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが不十分である。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を使うことが不十分である。
評価方法	定期考査	定期考査、提出物、表現活動	週末課題、提出物

麻高GP	 1 自律性	 2 協働性	 3 主体性	 4 課題解決能力	 5 情報活用能力
	 6 実践・発信力	 7 メタ認知能力	 8 探究心	 9 チャレンジ精神	 10 レジリエンス力

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	説話 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 随筆 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」	第1回定期考査
	6月～ 8月	歌物語 伊勢物語 「東下り」 随筆 枕草子 「中納言参り給ひて」 入門1 訓読の基礎 入門2 再読文字 助字 置き字	
	9月	故事 狐借虎威 史伝 鶏口牛後	第2回定期考査
	後期	10月～ 11月	日記文学 土佐日記 門出 文章 雑説 随筆 徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」
12月～ 2月		思想 孟子 歌物語 伊勢物語 「筒井筒」 史伝 鶏口牛後	第2回実力テスト 第4回定期考査
3月		平家物語 祇園精舎	

● [評価基準]

	学期末観点 別評価点	第1(3)回 考査評価点	第2(4)回 考査評価点	3観点別評価 点小計	評価達成率	学期・年度末 3観点別評価	学期・年度 末評定
知識・技能	10	35	35	$\alpha = 0 \sim 45$	$\textcircled{1} = (\alpha / 45) \times 100$	A～C	
思考・判断・表現	10	35	35	$\beta = 0 \sim 45$	$\textcircled{2} = (\beta / 45) \times 100$	A～C	
主体的に学習に 取り組む態度	10			$\gamma = 0 \sim 10$	$\textcircled{3} = (\gamma / 10) \times 100$	A～C	
3観点別評価点 小計	30	35	35	0～100	$\textcircled{4} = (\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3}) / 3$		5～1

評価達成率①～③	評価の内容	観点別評価
66～100	「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
21～65	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
0～20	「努力を要する」状況と判断されたもの	C

全評価達成④	評定の内容	評定
85～100	「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
65～84	「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
40～64	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
20～39	「努力を要する」状況と判断されたもの	2
0～19	「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1